



2014 年 3 月 13 日

各 位

会 社 名 旭 化 成 株 式 会 社
代 表 者 名 代表取締役社長 藤原 健嗣
(コード番号：3407 東証 第一部)
問 合 せ 先 広報室長 山崎 真人
(TEL 03-3296-3008)

スイス Actelion 社との訴訟におけるカリフォルニア州最高裁判所の決定について

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：藤原 健嗣）の子会社である旭化成ファーマ株式会社（本社：東京都千代田区、社長：浅野 敏雄）は、旭化成ファーマが開発した Rho-kinase 阻害剤「ファスジル」のライセンス契約に関連して、スイス国 Actelion 社およびその関連会社・役員を被告とする損害賠償請求訴訟を米国において提起していましたが、本日（現地時間 2014 年 3 月 12 日）、本訴訟に関するカリフォルニア州最高裁判所の決定がありましたので、お知らせします。

1. 経緯

旭化成ファーマは、CoTherix 社との間で「ファスジル」に関する開発・販売権を供与するライセンス契約を 2006 年 6 月に締結しました。2007 年 1 月に Actelion 社が CoTherix 社を買収し、それ以降 CoTherix 社が「ファスジル」の開発を中止したため、2008 年 11 月に旭化成ファーマは、Actelion 社およびその関連会社・役員に対して、被告らが不法に開発を止めさせたことを理由として損害賠償を求める訴えを米国カリフォルニア州サンマテオ郡地方裁判所に提起しました。

これを受け、2011 年 11 月に被告らに対して総額 415.7 百万米国ドルの支払いを命ずる第一審判決が下され、被告側はこれを不服としてカリフォルニア州高等裁判所に控訴しましたが、2013 年 12 月に同裁判所により第一審判決を維持する旨の判決が下されました。

その後被告側は、カリフォルニア州最高裁判所に対する上告受理の申立をしていましたが、本日（現地時間 2014 年 3 月 12 日）、当該申立を却下する旨の最高裁判所の決定がありました。

2. 連結業績への影響

本件による旭化成グループの連結業績への影響については、確定後速やかに開示します。

<参考>

Actelion 社の概要

1997 年に設立されたスイス国バーゼル市に本社を置く製薬企業（2013 年度連結売上高 1,786 百万スイスフラン）。主力製品は、肺高血圧治療薬の「トラクリア」。

Rho-kinase

Rho-kinase は、細胞内情報伝達に関与するリン酸化酵素で、血管平滑筋の収縮・弛緩をコントロールする生体機能分子として、近年、注目を集めている。血管平滑筋に存在する Rho-kinase が異常に活性化されると、血管平滑筋の収縮が亢進され、その結果生じる血流障害により組織の機能異常が起こる。Rho-kinase 阻害剤である「ファスジル」は、血管平滑筋の収縮を抑制するとともに、付随しておこる組織障害を効果的に改善することができる。

以 上